

## 8-3-5 報酬のあり方検討WG

### 1. WGの概要

#### (1) 活動目的

報酬のあり方検討WGは、建設コンサルタント業界の報酬・積算体系の問題点・課題を整理するとともに、新たな報酬・積算のあり方について検討することを目的としている。また、関係委員会との意見交換会や未来塾等を通じて、発注者へ改善提案を行うこととしている。

令和7年1月に6年間検討してきた内容を「建設コンサルタントの新たな報酬のあり方への提案」としてとりまとめて協会会員向けに公開し、活動の大きな区切りとなった。そのため、令和7年度は、今後の活動の方針及び具体的な内容を議論することから着手した。

#### (2) WGメンバーの構成

WGは、以下のメンバーで構成する。

WG長：(株)建設技術研究所 岩田 通明

委員：(株)復建エンジニアリング 戸田 秀夫

日本工営(株) 諏訪 浩

(株)オリエンタルコンサルタンツ 熊坂 徹

也

大日本ダイヤコンサルタント(株) 石井 貴

朗

### 2. 主な活動報告

#### (1) WGの開催

WGは、企画委員会の開催等に合わせて、以下の日程で計11回開催した。

- ① 令和7年04月16日    ② 令和7年05月21日
- ③ 令和7年06月25日    ④ 令和7年07月18日
- ⑤ 令和7年09月18日    ⑥ 令和7年10月17日
- ⑦ 令和7年11月20日    ⑧ 令和7年12月16日
- ⑨ 令和8年01月21日    ⑩ 令和8年02月19日
- ⑪ 令和8年03月18日

令和7年1月に会員向けに公開した「建設コンサルタントにおける新たな報酬のあり方の提案」の具体化に向けた取組として、「建設コンサルタントの地位向上検討委員会」及び「要望と提案」に関連する要請に基づく活動が中心で

あった。

#### (2) 関連する委員会等

当WGの検討成果については、企画部会並びに企画委員会における報告及び建設コンサルタントの地位向上検討委員会への参画を通じて、協会活動に活用された。

### 3. 検討内容の概要

検討した内容の概要を以下に示す。

#### (1) 技術提案・価格交渉方式に関する検討

公共土木工事においては、技術提案で優先交渉権者となった施工会社が価格等の交渉を行うことができる仕組みが作られているが、公共土木設計業務は、技術提案・交渉方式の対象となっていない。

技術提案・交渉方式の導入提案を目的として、プロポーザル制度の課題に関して検討を行った。

#### (2) ECI方式の課題に関する検討

近年、建設プロジェクトにおいて設計段階から施工者が参画するECI方式（Early Contractor Involvement）の導入が増えてきており、ECI方式の課題について検討を行った。最初にECI制度の検討経緯と内容を整理し、WG内各社の事例を基にECI方式における設計者の観点での課題の概要を把握した。

その結果を受けて、ECI方式の課題把握のための、企画委員会所属企業を対象とするアンケートを実施しており、その結果については要望と提案に反映される予定である。

#### (3) スライド条項に関する検討

国土交通省では、令和8年度以降に新規契約となる業務を対象に業務スライドが試行される。そこで、他の発注者を含めて、スライド条項に関連する制度の内容を整理するとともに、業務中間での出来高確認の実施方法に関連する検討を行った。

### 4. 次年度の活動について

次年度は、マネジメントシステム委員会、契約のあり方専門委員会、未来塾検討WG等との連携を図りながら、今年度の提案内容を深める活動を進める予定である。

(報酬のあり方検討WGWG長 岩田 通明)